

様式第2の2（第3条関係）

排水水の排水系統別の汚染状態及び量の届出書

提出年月日を記入する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 一宮市長

工場長等の代表権を有しない者が届出者となる場合、代表者の委任状が必要。

住所 一宮市××町1-2-3

届出者 氏名又は名称 〇〇株式会社

法人にあつては 代表取締役 一宮 太郎

代表者氏名

[電話番号 0586-〇〇-〇〇〇〇 ]

水質汚濁防止法第6条第3項の規定により、排水水の排水系統別の汚染状態及び量について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社本社工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 一宮市××町1-2-3	※受理年月日	年 月 日
△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

備考1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表に定める「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。  
「番号」は、「業種等及び規模一備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206-備」、「223ア-備」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙

当該工程の排水(污水处理施設がある場合は処理後の排水)のCODを記入する。

汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

指定項目の別 COD

特定排水	業種その他の区分(番号)	汚染状態(mg/L)		水量(m <sup>3</sup> /日)			汚濁負荷量(kg/日)		※		
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>c0</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>		通常	最大
①	電気めっき業(201)	10	20	36	43.5	16.5	—	27	0.36	0.87	
②	輸送用機械器具製造業(206)	10	20	74	86.5	63.5	—	23	0.74	1.73	
③	輸送用機械器具製造業(206-備)	10	20	100	120	90	—	30	1	2.4	
④	し尿浄化槽(150人槽)(2327)	30	40	30	40	—	40	—	0.9	1.6	
合計				240	290	170	40	80	3	6.6	
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態(mg/L)		水量(m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量(kg/日)					
	a	冷却水	通常	最大	通常	最大	通常				最大
合計				100	110	0.3	0.44				
その他の備考事項	③については、電気めっき工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>n0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>p0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表に定める「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。「番号」は、「項番号及び規模一備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206ア-備」、「209ア-イ」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙

当該工程の排水(汚水処理施設がある場合は処理後の排水)の窒素含有量を記入する。

汚染状態(最大)×水量(最大)÷1000

汚染状態(通常)×水量(通常)÷1000

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

指定項目の別 窒素含有量

業種その他の区分(番号)	汚染状態(mg/L)		水量(m <sup>3</sup> /日)			汚濁負荷量(kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Q <sub>c0</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大
	① 電気めっき業(201イ)	20	25	36	43.5	16.5	27	—	0.72
② 輸送用機械器具製造業(206イ)	20	25	74	86.5	63.5	23	—	1.48	2.16
③ 輸送用機械器具製造業(206イ-備)	20	25	100	120	90	30	—	2	3
④ し尿浄化槽(150人槽)(232ア)	30	40	30	40	40	—	—	0.9	1.6
①②③…、a b c…は、別添「排水水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図」へ番号等を記入する。									
合計			240	290	210	80	—	5.1	7.85
特定排水水以外の排水水	汚染状態(mg/L)		水量(m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量(kg/日)				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	a 冷却水	1	2	100	110	0.1			
合計			100	110	0.1	0.22			
その他の参考事項	③については、窒素化合物による表面処理施設を設置する自動車付属品製造工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。								

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>n0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 4 りん含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>p0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

総量規制基準に係る愛知県告示の別表に定める「業種その他の区分」及び「番号」を記入する。  
「番号」は、「業種等及び規模-備考」（「61ア」、「108-ウ」、「206ア-備」、「209ア-1」等）と記入し、別表備考欄の業種等に該当する場合、「その他参考となるべき事項」にその内容を記入する。

別紙

当該工程の排水（污水处理施設がある場合は処理後の排水）のりん含有量を記入する。

汚染状態(最大) × 水量(最大) ÷ 1000

汚染状態(通常) × 水量(通常) ÷ 1000

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

当該工程の排水量を記入する。

指定項目の別 りん含有量

業種その他の区分（番号）	汚染状態（mg/L）		水量（m <sup>3</sup> /日）			汚濁負荷量（kg/日）		※	
	通常	最大	通常	最大	Q <sub>c0</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大
	① 電気めっき業(201イ)	2	3	36	43.5	16.5	27	—	0.072
② 輸送用機械器具製造業(206イ)	2	3	74	86.5	63.5	23	—	0.148	0.26
③ 輸送用機械器具製造業(206イ-備)	2	3	100	120	90	30	—	0.2	0.36
④ し尿浄化槽(150人槽)(232ア)	3	4	30	40	40	—	—	0.09	0.16
①②③…、a b c…は、別添「排出水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図」へ番号等を記入する。									
合計			240	290	210	80	—	0.51	0.911
特定排水以外の排水	汚染状態（mg/L）		水量（m <sup>3</sup> /日）		汚濁負荷量（kg/日）				
	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	a 冷却水	0.1	0.2	100	110	0.01			
合計			100	110	0.01	0.022			
その他参考事項	③については、りん化合物による表面処理施設を設置する自動車付属品製造工程であるため、業種その他の区分に備考を適用。								

備考

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>n0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
- 4 りん含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>p0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。

別添

①②③…、a b c…は、別紙5「排出水の排水系統別の汚染状態及び量」の番号等を記入する。

排出水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図

<凡例> 水 量：通常水量（最大水量） [単位：m<sup>3</sup>/日]  
COD, N, P：通常水質（最大水質） [単位：mg/L]

